

講演録・結果概要等の掲載順一覧

※この一覧の「標題」のリンクをクリックすると、当該講演録・結果概要等が掲載された記事に遷移します。
 ※ただし、J・NETポータル「司法研修所情報データベース（ケンサン）」にログインしている場合に限ります。

| 分類 | 年度 | 研究会名等 | 標題 | 講師等 | 要旨 |
|-----------|-----|-----------------------------|---|---|--|
| 民事（行政） | H28 | 行政基礎研究会B | 講演「行政訴訟の訴訟要件の構造についての講演録」 | 氏 | 行政訴訟の効力性、原告適格、取消しの訴えの利益について、判例の判断構造を解説していただくとともに、これらの判断構造とその他の抗告訴訟の訴訟要件、当事者訴訟や民事訴訟の訴えの利益判断の判断構造との関係について御講演いただいたもの。 |
| 民事（金融・経済） | H28 | 民事実務研究会（金融経済3） | 講演とケーススタディ「企業価値評価の業務」の講演録 | 氏 | 具体的な企業価値事例に基づき、企業価値評価における実務上の諸問題について御講演いただいたもの。 |
| 民事（金融・経済） | H28 | 民事実務研究会（金融経済3） | 講演と意見交換「企業価値評価と裁判」の講演録 | 氏 | 企業価値評価をめぐる裁判例を取り上げながら、当該分野の法的紛争に関する裁判所の判断の在り方等について御講演いただいたもの。 |
| 民事（その他） | H28 | 特別研究会7（争点整理の在り方） | 講演と意見交換「争点整理手続の現状と課題」の講演録 | 氏 | 民事訴訟を取り巻く環境の変化を踏まえ、争点整理手続の課題及び裁判所に期待される役割等について研究者の視点から御講演いただいたもの。 |
| 民事（建築） | H28 | 民事実務研究会（建築A） | 講演「鉄筋コンクリート造の梁際の講演録」 | 東京地方裁判所民事調停委員 小柳光生氏 | 鉄筋コンクリート造の建築物の建築工程を踏まえ、コンクリートのひび割れ、かぶり厚さなど鉄筋コンクリート造の建築物においてしばしば紛争原因となる点について御講演いただいたもの。 |
| その他 | H28 | 東京地方裁判所における平成29年3月22日開催の講演会 | 講演「ハンセン病と人権」の講演録 | 氏 | 平成29年3月22日に東京地裁で実施された講演会を、東京地裁及び講師の御了解を得て講演録としたもので、ハンセン病療養の歴史や人権に関する問題等について、御自身の経験を踏まえ御講演いただいたもの。 |
| 民事（通常） | H28 | 特別研究会4（民事事件における合議の在り方） | 講演と意見交換「合議の在り方について」の講演録 | 大阪高等裁判所総括判事（当時） 森岡 氏 | 地裁の管理に見られる問題点等についても触れながら、民事事件における合議の在り方について、広く御講演いただいた。 |
| その他 | H28 | 裁判基礎研究会3（人権とダイバーシティ） | 講演と意見交換「社会におけるダイバーシティと人権」の講演録 | 氏 | 平成29年2月28日に行われた氏による講演と意見交換「社会におけるダイバーシティと人権」における内容をまとめたもの。 |
| 民事（医療） | H28 | 民事実務研究会（医療） | 講演と意見交換「脳疾患の診断と治療2-各論2-」の講演録 | 氏 | 脳疾患の診断と治療をテーマに、くも膜下出血、脳梗塞、脳動脈瘤等の疾患について御講演いただいた上で、意見交換を行ったもの。 |
| 刑事 | H28 | 刑事実務研究会（被害者配慮） | 講演「被害者の心理と刑事裁判」の講演録 | 氏 | 被害者の心理状態、PTSD・トラウマの基礎知識、回復の見通しや供述の信用性等について、主に刑事裁判に関する場面を想定しつつ、具体的な臨床を踏まえ実務事例に基づき御講演いただいたもの。 |
| 刑事 | H28 | 刑事実務研究会（基本2） | 講演「発達障害—その特性をふまえた接し方」の講演録 | 氏 | 発達障害の位置付けと定義、主な発達に関する障害とその特性（知的能力障害、ADHD、学習障害及び自閉スペクトラム障害等）及び裁判・社会における支援について御講演いただいたもの。 |
| その他 | H28 | 裁判基礎研究会2（人工知能と社会） | 講演と意見交換「人工知能の現状と課題」の講演録 | 氏 | 人工知能やロボットに関する法的課題について御講演いただいたもの。 |
| 民事（行政） | H28 | 行政実務研究会 | 共同研究「行政事件の管理・運営をめぐる諸問題」の結果概要 | 東京地裁総括判事 岩井伸晃 氏 大阪地裁総括判事 山田 明 氏 | 平成28年10月7日に行われた共同研究「行政事件の管理・運営をめぐる諸問題」における内容をまとめたもの。 |
| その他 | H28 | 特別研究会5（情報セキュリティ） | 講演「政府機関等及び民間企業における情報セキュリティ対策についての取組の現状と課題」の講演録 | 氏 | 12月13日に行われた講演を資料化したもの。裁判所以外の組織における情報セキュリティ対策の現状や問題点、課題等について御講演いただいたもの。 |
| 民事（医療） | H28 | 民事実務研究会（医療） | 講演と意見交換「脳疾患の診断と治療1-総論と各論1-」の講演録 | 氏 | 脳疾患の診断と治療をテーマに、脳の仕組みと機能等の概論的なものに加え、脳出血、脳梗塞等の疾患についても御講演いただき、意見交換した。 |
| その他 | H28 | 知的基礎研究会2 | 講演「教育」といふものの講演録 | 氏 | 教育を身に付ける意義、方法等について御講演いただいたもの。 |
| その他 | H28 | 裁判基礎研究会2（人工知能と社会） | 講演と意見交換「人工知能の現状とその可能性」の講演録 | 氏 | 人工知能の仕組みや現状に関する基礎的な知識、最新の状況、今後の可能性等について御講演いただいたもの。 |
| 民事（金融・経済） | H28 | 民事実務研究会（金融経済1） | パネルディスカッション「デリバティブ取引に関する訴訟の運営」の結果概要 | 氏 弁護士 上柳敏郎 氏 弁護士 谷健太郎 氏 東京地裁総括判事（当時） 宮坂昌利 氏 | デリバティブ関係訴訟のあるべき審理運営について、パネルディスカッション形式で議論されたもの。 |
| 刑事 | H28 | 刑事実務研究会（基本2） | 講演「勾留及び保釈について」の講演録 | 氏 | 勾留及び保釈の運用の在り方について、御講演いただいたもの。 |
| 民事（労働） | H28 | 労働実務研究会A、B | 講演「働き方改革時代の労働法制の動向と展望」の講演録 | 氏 | 平成28年12月8日に行われた氏による講演「働き方改革時代の労働法制の動向と展望」における内容をまとめたもの。 |
| 民事（労働） | H28 | 労働実務研究会B | 共同研究「労働事件をめぐる実務上の諸問題」の結果概要 | 東京地裁総括判事 吉田 敬 氏 大阪地裁総括判事 内藤 裕之 氏 | 労働事件に関する実務上の諸問題（各論による審理、長期化しやすい事件処理の管理運営、懲戒解雇者からの退職金請求等）について、共同研究を行ったもの。 |
| その他 | H28 | 裁判基礎研究会1（現代社会と統計） | 講演と意見交換「統計的思维的な現代社会におけるその意義」の講演録 | 氏 | 平成28年7月5日に行われた上記講演を資料化したもので、統計学の基本的事項について説明していただくとともに、統計分析を社会で適切に活用するための統計的思维的な見方（統計的思考）について講演していただいたもの。 |
| その他 | H28 | 特別研究会5（情報セキュリティ） | 説明と共同研究「情報セキュリティインシデントから変える」及び共同研究「裁判所の情報セキュリティの現状と課題」の結果概要 | 情報政策課長 安東 章 氏 情報政策課参事官 橋爪 信 氏 | 裁判所の情報セキュリティを確保するための具体的な取り組みや情報セキュリティに関する意識などについて意見交換した。 |
| 民事（金融・経済） | H28 | 民事実務研究会（金融経済2） | 講演「民事訴訟における経験則の利用」の講演録 | 氏 | 訴訟あるいは判決の中で、高麗習や経験則を用いる場合に、どのような手続規律に照らすべきかについて御講演いただいたもの。 |
| 刑事 | H28 | 刑事実務研究会（被害者配慮） | 共同研究「被害者配慮に関する訴訟運営上の諸問題」の結果概要 | 東京地方裁判所総括判事 石井俊和 氏 大阪地方裁判所総括判事 遠藤 雅彦 氏 刑事局第一課長（情報提供） 福島直之 氏 | (1)被害者特定事項の扱い、(2)刑罰法改正（公判の法廷における証人等の氏名等の秘匿措置等の導入）、(3)令状、起訴状等における被害者氏名の扱い、(4)制訴の強い証拠の扱い（遺体等を含む。）など、被害者配慮に関する運用上の諸問題について、議論した。 |
| 民事（金融・経済） | H28 | 民事実務研究会（金融経済3） | 講演「コーポレートファイナンスと企業価値評価の基礎」の講演録 | 氏 | キャッシュフロー、現在価値、資本コストなど、企業価値評価の基礎となるコーポレートファイナンス理論の基本的な考え方や概念について御講演いただいたもの。 |
| 民事（金融・経済） | H28 | 民事実務研究会（金融経済2） | 講演「商取引の合理性と非合理性—相互信頼と法・裁判」の講演録 | 氏 | 商取引の合理性、相手方の行動の規律、取引費用、経路依存性を踏まえ、裁判と商取引実務の関係性について御講演いただいたもの。 |
| 民事（建築） | H28 | 民事実務研究会（建築A・B） | 講演と意見交換「」の講演録 | 氏 | 商取引の合理性、相手方の行動の規律、取引費用、経路依存性を踏まえ、裁判と商取引実務の関係性について御講演いただいたもの。 |
| 家事 | H28 | 特別研究会3（後見関係事件の運用をめぐる諸問題） | 講演「」における市民後見人の養成・活動支援と家庭裁判所との連携についての講演録 | 氏 | における市民後見人の養成及び活用の促進に関するの取組状況と家庭裁判所との連携について、わかりやすく説明されたもの。 |
| 民事（金融・経済） | H26 | 司法研究（民事）報告会 | 司法研究報告会「デリバティブを中心とする金融商品の仕組みやリスク及び関係訴訟の諸問題」の資料 | 平成26年度司法研究（民事）研究員 | 平成26年10月5日に行われたH26司法研究（民事）報告会の資料 |
| 民事（金融・経済） | H28 | 民事実務研究会（金融経済1） | 講演「説明義務と適合性原則」の講演録 | 氏 | 金融商品の販売に関する説明義務・適合性原則の歴史的展開、実体法上の位置付け、理論枠組み等について説明した。 |
| 民事（建築） | H27 | 民事実務研究会（建築B） | 講演と意見交換「修繕費用の積算の考え方と実務」の講演録 | 氏 | 平成27年10月28日に行われた講演と意見交換の結果を資料化したもの。修繕費用の積算について、積算工事費の内訳やそれを踏まえた実務について、説明を用いるなどして解説していただいたもの。 |
| 刑事（裁判員） | H28 | 特別研究会6（刑事控訴審の在り方） | 共同研究「裁判員裁判の控訴審の管理・判決の在り方」の結果概要 | 東京高等裁判所総括判事 橋木力 氏 | 評価的な概念や供述の信用性に関し、原判決が論理則、経験則等に違反するといえる場合について共同研究を行ったもの。 |
| 刑事（裁判員） | H28 | 特別研究会6（刑事控訴審の在り方） | 講演「裁判員裁判の控訴審について」の講演録 | 氏 | 最近の最高裁判決等を踏まえ、研究者の視点で、第一審が裁判員裁判である事件の控訴審の審判の在り方等について御講演いただいたもの。 |
| 刑事 | H28 | 特別研究会6（刑事控訴審の在り方） | 共同研究「控訴審における諸問題」の結果概要 | 大阪高等裁判所総括判事 中川博之 氏 | 高裁内部や高裁裁判間で意見交換の在り方、事実認定の審査及び量刑審査についての共同研究を行ったもの。 |
| 民事（通常） | H28 | 民事実務研究会（基本2） | 講演「法的紛争解決の場における交渉のプラクティス」の講演資料 | 弁護士 奈良 輝久 氏 | 10月19日に行われたカリキュラムにおける講師の講演資料 |
| 刑事（裁判員） | H28 | 刑事実務研究会（裁判員1） | 講演「裁判員裁判の目指すもの」の講演録 | 氏 | 裁判員裁判の導入によって顕在化した新しい刑事裁判の方向性や、公判整理手続の在り方と上訴審の事後審査の在り方等について、御講演していただいたもの。 |
| 少年 | H28 | 少年実務研究会 | 講演と意見交換「」の講演録 | 氏 | 研究者の立場から、司法手続における子どもの心理状況を踏まえたの在り方について、御講演いただいたもの。 |

講演録・結果概要等の掲載順一覧

※この一覧の「標題」のリンクをクリックすると、当該講演録・結果概要等が掲載された記事に遷移します。
 ※ただし、J・NETポータル「司法研修所情報データベース（ケンサン）」にログインしている場合に限ります。

| 分類 | 年度 | 研究会名等 | 課題 | 講師等 | 要旨 |
|---------|-----|--------------------------|--|---|---|
| 刑事 | H28 | 特別研究会6（刑事検察の在り方） | 講演「刑事検察の在り方」の講演録 | 氏 | 検察の法的性質や現状に対する認識を踏まえ、検察における事実認定の審査、量刑審査、事実取扱い及び被害後の手続きの在り方について御講演いただいたもの。 |
| 家事 | H28 | 特別研究会3（養育費事件の運用をめぐる諸問題） | 共同研究「成年後見制度の普及等促進された後見監督官の在り方」他2件の結果概要 | （裁判所職員総合研修所と合同実施） | 後見等監督の目的と手段、2段目の審査の在り方、後見人による支出行為を評価する際の視点、専門職団体との連携、解任申立権等による記録の閲覧・閲覧申請、監督事件における書記官の役割について、共同研究を行ったもの。 |
| 人事訴訟 | H28 | 特別研究会2（人事訴訟事件の運用をめぐる諸問題） | 講演及び意見交換「人事訴訟の裁判官の役割と現状の課題」の講演録 | 氏 | 人事訴訟法制定時の趣旨と裁判の迅速化の観点から、人事訴訟の現状の問題点や改善策等について、御講演いただいたもの。 |
| 民事（IT） | H28 | 民事実務研究会（IT） | 講演と意見交換「システム開発競争とプロジェクト・マネジメント」の講演録 | 弁護士 上山浩 氏 | システム開発競争が起る背景事情やプロジェクト・マネジメント課題といわれるものの内実、ソフトウェア開発現場の実態について、御講演いただいたもの。 |
| その他 | H28 | 裁判所事務基礎研究会 | 講演と意見交換「裁判所事務の在り方」の講演録 | 東京高等裁判所司法行政事務総長 足立 氏 東京高等裁判所職員総務部長 行田登 氏 | 6月4日に行われたカリキュラムの講演及び意見交換の内容を資料化したもの。 |
| 刑事（裁判員） | H28 | 刑事実務研究会（裁判員3） | 共同研究「裁判員裁判の取組への在り方」の結果概要 | 東京地方裁判所総括判事 大野勝則 氏 大阪地方裁判所総括判事 遠藤邦彦 氏 | 裁判員裁判における取組状況DVDの取組への在り方について御講演いただいたもの。 |
| 刑事（裁判員） | H28 | 刑事実務研究会（裁判員3） | 共同研究「公判準備の在り方(1)」の結果概要 | 司会 司研教官 | 司法研究「公判準備の在り方」の司法研究員と研究会参加者との間で行われた、共同研究の内容をまとめたもの。 |
| 刑事（裁判員） | H28 | 刑事実務研究会（裁判員3） | 共同研究「公判準備の在り方(2)」の結果概要 | 司会 司研教官 | 司法研究「公判準備の在り方」の司法研究員と研究会参加者との間で行われた、共同研究の内容をまとめたもの。 |
| 刑事（裁判員） | H28 | 刑事実務研究会（裁判員3） | 共同研究「裁判員と裁判官の資質的役割の在り方」の結果概要 | 司会 司研教官 | 司法研究「裁判員と裁判官の資質的役割の在り方」の司法研究員と研究会参加者との間で行われた、共同研究の内容をまとめたもの。 |
| 刑事 | H28 | 刑事実務研究会 | 講演と意見交換「刑事裁判について」の講演録 | 東京高等裁判所総括判事 小坂敏幸 氏 | 6月7日に行われた上記カリキュラムの講演と意見交換の内容を資料化したもの。 |
| 少年 | H28 | 少年実務研究会 | 説明「少年事件の現状と課題」共同研究「少年事件の現状と課題」 | 家庭局第一課長 和坂宏典 氏 | 少年事件関係7条の改正を中心に、改正の趣旨、概要及び適用上の留意点に関する家庭局第一課長からの説明をまとめたもの。 |
| その他 | H28 | 裁判員研究会1（現代社会と統計） | 講演と意見交換「『良い統計』とは、どんな統計か？」の講演録 | 総務省統計局統計調査部長 千野雅人 氏 | 平成28年7月6日に行われた上記講演を資料化したもので、統計にかかわる政府機関、統計制度のポイント等の政府統計の仕組みや、その品質について御講演いただいたもの。 |
| 民事（通常） | H28 | 特別研究会1（民事事件処理の充実） | 講演と意見交換「外から見た民事裁判の現状と課題」 | 弁護士 藤村啓 氏 | 当事者の立場から見た地裁の審理運営の現状、問題点について、御講演いただいたもの。 |
| 刑事 | H27 | 刑事実務研究会（精神障害） | 講演と意見交換「精神障害の被告人の処遇」の講演録 | 氏 | 精神障害の被告人について、刑事責任能力の判断構造を整理する8ステップに沿った御講演いただいたもの。 |
| 刑事 | H27 | 刑事実務研究会（精神障害） | 講演と共同研究「刑事責任能力と精神障害」の講演録 | 氏 大阪地裁総括判事 石川恭司 氏 外1名 | 刑事法学者の立場から最近の最高裁判所を含め、責任能力の存否、程度判断の基本的な枠組み、責任能力判断の在り方等について御講演いただいたもの及び精神障害の被告人等に関する裁判員裁判における運用上の諸問題について御講演いただいたもの。 |
| 刑事 | H27 | 刑事実務研究会（精神障害） | 講演と共同研究「医療観察法初選事件の取組」の講演録 | 氏 氏、東京地裁総括判事 待田理洋 氏 外1名 | 入院医療決定及び退院許可決定をめぐる問題その他医療観察法初選事件の審理運営上の諸問題について御講演いただいたもの。 |
| 少年 | H28 | 少年実務研究会 | 講演「少年事件の現状と課題」の講演録 | 氏 | 適宜の裁判員に基づく検討を通じ、少年事件の現状の充実に向けた方法論等について、御紹介いただいたもの。 |
| その他 | H28 | 裁判員研究会1（現代社会と統計） | 講演と意見交換「『良い統計』とは、どんな統計か？」の講演録 | 氏 | 産業界における統計分析の活用と課題や、統計分析を適切に理解するための基礎的な事項について御講演いただいたもの。講演資料はデータ容量が大きいので、2分割しています。 |
| 民事（通常） | H28 | 特別研究会1（民事事件処理の充実） | 講演「裁判所における組織マネジメント」の講演録 | 東京高等裁判所総括判事（当時） 柴田寛之 氏 | 6月29日に行われた講演の内容を資料化したもの。 |
| 民事（通常） | H28 | 刑事実務研究会 | 講演及び意見交換「民事裁判について」の講演録 | 東京高等裁判所総括判事（当時） 水野邦夫 氏 | 6月6日に行われた上記カリキュラムの講演及び意見交換の内容を資料化したもの。 |
| 刑事（裁判員） | H28 | 刑事実務研究会（裁判員2） | 講演「裁判員と裁判官の資質的役割の在り方（正当防衛）」の講演録 | 氏 | 研究者の立場から、裁判員裁判における正当防衛の判断の在り方について、判例理論や近時の裁判員における判断等を踏まえ、御講演いただいたもの。 |
| 人事訴訟 | H28 | 特別研究会2（人事訴訟事件の運用をめぐる諸問題） | 共同研究「地裁職員の活用について」他1件の結果概要 | 東京地裁総括判事 青木晋 氏 外4名 | 9月7日に行われた共同研究の結果概要を資料化したもの。 |
| その他 | H28 | 裁判員研究会1（現代社会と統計） | 講演と意見交換「統計・データ分析のこれから」の講演録 | 氏 | これまでの統計学の流れ、ビッグデータの分析、個人情報、人工知能とデータ分析等の最近の話題等について御講演いただいたもの。講演資料はデータ容量が大きいので、2分割しています。 |
| 刑事 | H27 | 刑事実務研究会（精神障害） | 講演「指定入院医療機関における医療観察法適用の取組」の講演録 | 氏 | 指定入院医療機関における、医療観察法による入院対象者の治療・処遇の取組について、許容を交えて御講演をいただいたもの。 |
| 刑事（裁判員） | H28 | 刑事実務研究会（裁判員2） | 共同研究「公判準備の在り方」の結果概要 | 千葉地方裁判所総括判事 吉村良晃 氏 横浜地方裁判所判事 田井根浩 氏 大阪地裁総括判事 新井紅亜礼 氏 | 公判準備における争点及び証拠の整理について、公判前整理手続の三つの段階（1 起訴から起訴決定までの整理、2 予定主張記載書面の提出まで、3 争点と証拠の整理の段階）に応じて意見交換を行ったもの。 |
| 刑事（裁判員） | H28 | 刑事実務研究会（裁判員2） | 共同研究「裁判員と裁判官の資質的役割の在り方(3)」の結果概要 | 東京地方裁判所総括判事 島田一 氏 甲府地方裁判所総括判事 丸山信己 氏 | 公判準備に際し、1 行為責任の考え方を共有するための取組、2 精神障害の影響の位置付けについて、3 インパクトの強い事件の特色について、4 社会的課題の中で位置付けを議論する方法について意見交換を行ったもの。 |
| 刑事（裁判員） | H28 | 刑事実務研究会（裁判員2） | 講演と共同研究「裁判員と裁判官の資質的役割の在り方(2)」の結果概要 | 東京地方裁判所総括判事 島田一 氏 さいたま地方裁判所判事 飯沼史朗 氏 | 正当防衛に際し、1 難解な法律概念の説明、法解釈と当てはめのための区別について、2 裁判の前提となる事実認定の在り方、3 公判前整理手続や公判準備の在り方について意見交換を行ったもの。 |
| 民事（通常） | H27 | 特別研究会8（消費者裁判手続特例法） | パネルディスカッション「消費者裁判手続特例法の取組」の結果概要 | 氏 弁護士 野々山宏 氏 弁護士 今井和男 氏 大阪地裁総括判事 増藤謙典 氏 東京地裁総括判事 福井孝代 氏 | 平成28年10月に施行される消費者裁判手続特例法について、学者、消費者弁護士、企業側弁護士から、制度の概要や特例法について御講演をいただいた後、訴訟開始前、共通の争点の整理や、消費者裁判手続特例法において実務上予想される課題等について御講演をいただいたもの。 |
| 民事（通常） | H28 | 民事実務研究会（基本1） | 共同研究「民事訴訟における裁判官と書記官の役割」の結果概要 | 司会 司研教官、秘研教官 | 争点整理の結果の記録化の意義や方法、弁論録手続前日への書記官の役割の在り方、判決の訂正、差違、録音取扱い、判決正本作成、民事判決の記録等について共同研究を行ったもの。 |
| その他 | H27 | 裁判員研究会3（現代社会におけるリスクと安全） | 講演とワークショップ「ヒューマンエラーとリスク管理～医療事故防止の視点から」の講演録 | 氏 | 3月2日に行われた上記カリキュラムの講演を資料化したものです。 |
| 民事（労働） | H27 | 労働実務研究会B | 共同研究「労働事件をめぐる裁判官の役割」の結果概要 | 東京地裁総括判事 吉田敬 氏 大阪地裁総括判事 内藤裕之 氏 | 労働事件の裁判官の役割（労働法による整理、民間化して、労働事件の審理運営、労働関係者からの退職金請求等）について、共同研究を行ったもの。 |
| 民事（労働） | H27 | 労働実務研究会A | 共同研究「労働事件の一般的な問題」の結果概要 | さいたま地裁総括判事 針原遼 氏 名古屋地裁総括判事（当時） 田邊浩典 氏 | 労働事件の一般的な問題（労働関係者、口頭での議論、退職金請求等）について、共同研究を行ったもの。 |

講演録・結果概要等の掲載順一覧

※この一覧の「標題」のリンクをクリックすると、当該講演録・結果概要等が掲載された記事に遷移します。
 ※ただし、J・NETポータル「司法研修所情報データベース（ケンサン）」にログインしている場合に限りです。

| 分類 | 年度 | 研究会名等 | 標題 | 講師等 | 要旨 |
|-----------|-----|--------------------------|---|---|---|
| 民事（行政） | H27 | 行政基礎研究会B | 共同研究「行政事件の整理運営上の諸問題-争点整理を中心として-」の結果概要 | 東京地方裁判所総括判事 谷口登 氏 行政局第二課長 小田真治氏 | 住民訴訟、社会保障関係訴訟、大規模訴訟等の行政事件の整理運営について、共同研究を行ったもの。 |
| その他 | H27 | 裁判基礎研究会3（現代社会におけるリスクと安全） | 講演「身の安全・安心を奪える科学技術とリスクコミュニケーションの在り方」の講演録 | 〃 氏 | 3月4日に行われた上記カリキュラムの講演を資料化したものです。 |
| 少年 | H27 | 少年実務研究会 | 講演「心療療法における「判決」を目的とした訴訟-ソリューション・フォーカスト・アプローチの発展の基盤」 | 〃 氏 | 心療療法の一環であるソリューション・フォーカスト・アプローチ（SFA）における子どもへの働きかけの基本やSFAの価値で行うこと等について、御講演をいただいたものです。 |
| 民事（IT） | H27 | 講演会 | 基調講演と意見交換「インターネット上のプライバシー権保護政策への対応」の講演録 | 〃 氏 〃 氏 | 欧州における「忘れられる権利」の議論、検索エンジン事業者の個人データ削除義務、ドメインの移転を踏まえたインターネット上におけるプライバシーと表現の自由等について各講師から御講演いただきました。また、各講師と研究員との間で、インターネット上のプライバシー権保護が問題となる事件において生じ得る論点について意見交換をしたもの。 |
| 刑事 | H27 | 刑事実務研究会（基本2） | 講演「デジタルフォレンジックの発展と最近の動向」の講演録 | 〃 氏 | 警察のためや企業等において、不正アクセスや秘密情報の漏えい等の調査に用いられるデジタルフォレンジックについて、概論的な御講演をいただいたもの。 |
| 民事（通常） | H27 | 判事任官者実務研究会 | 講演と意見交換「裁判について考える」（原案系）の講演録 | 東京高等裁判所総括判事（当時） 高世三郎 氏 | 2月17日に行われた上記カリキュラムの講演を資料化したものです。 |
| 民事（通常） | H27 | 特別研究会7（現代社会における法と裁判） | 講演と意見交換「現代の民事裁判における裁判所の役割」の講演録 | 東京高等裁判所総括判事 富田啓祐 氏 | 平成28年2月8日に行われた「現代の民事裁判における裁判所の役割について」の講演と意見交換を資料化したもの。 |
| 民事（医療） | H27 | 民事実務研究会（医療A・B） | 講演と意見交換「医療訴訟における争点整理-裁判官を題材に具体的な事例に基づいて-」の講演録 | 〃 氏 | 裁判科の役割や、CT、MRI等の画像診断の基礎について説明していただくとともに、定期検診による乳房や乳がんの検影の際に考慮すべき事項等について、具体的な事例に基づいて詳しく説明していただいたもの。 |
| 民事（通常） | H27 | 特別研究会7（現代社会における法と裁判） | 基調講演「民事裁判の現代的位置について」の講演録 | 〃 氏 | 民事裁判の歴史、裁判官の役割の考え方、現代医療における裁判官の課題等について、基調講演をいただいたもの。 |
| 民事（金融・経済） | H27 | 民事実務研究会（金融経済3） | 講演と意見交換「デリバティブの価値評価と会計」の講演録 | 〃 氏 〃 氏 | デリバティブの時価算定の理論と実務及び会計におけるデリバティブの取扱いについて講演をいただいたもの。 |
| 民事（労働） | H27 | 労働実務研究会A・B | 講演「労働法制の動向と今後の展望」の講演録 | 〃 氏 | 労働法制のこれまでの動向、今後の改正、立法及びその動向について説明をいただいたとともに、今後の日本の労働法制の展望について講演をいただいたもの。 |
| 民事（行政） | H27 | 行政実務研究会 | 共同研究「行政事件の整理・運営をめぐる諸問題」の結果概要 | 東京地方裁判所総括判事 増田睦 氏 岡 盤内比佐志 氏 | 行政事件における実体法上、手続法上又は整理運営上の問題（自衛公団法に基づいて裁判官の整理運営の所管に付する行政訴訟における周辺住民の原告適格や都市計画事業認可処分と収用解決との適法性の承認等）について、共同研究を行ったもの。 |
| その他 | H27 | 新任判事研修 | 講演「新任判事に期待するもの」の講演録 | 東京高等裁判所総括判事 瀧澤泉 氏 | 平成28年1月19日に行われた上記カリキュラムにおける講師の資料です。 |
| 民事（建築） | H27 | 民事実務研究会（建築A・B） | 講演と意見交換「雨具りと防水」の講演録 | 〃 氏 | 建築で問題となる水（降水、地下水等）、屋根の構造や屋根による水処理の原理、漏水の原因・調査方法・補修方法等についてわかりやすく説明していただいたもの。 |
| 民事（建築） | H27 | 民事実務研究会（建築B） | 共同研究「建築関係訴訟の整理運営上の諸問題」の結果概要 | 東京地方裁判所総括判事 野藤高道 氏 最高裁判所民事第二部第二課長（情報提供者） 越多分定 氏 | 長期化するおそれのある建築関係訴訟の初期段階においてどのような対応が求められるか、長期化する訴訟を適切に解決していくには何が必要かを中心的なテーマとして、共同研究をしたもの。 |
| 民事（医療） | H27 | 民事実務研究会（医療B） | 共同研究「裁判官における医療訴訟の整理運営について」の結果概要 | 司会 司研教育 | 医療訴訟における争点整理手続、専門委員の活用、鑑定物の活用、実体法上の問題点などについて、共同研究を行ったもの。 |
| 民事（その他） | H27 | 特別研究会6（DV防止法の適用） | 講演「DV被害を受けた女性の心理」の講演録 | 〃 氏 | 犯罪被害者に関する研究の第一人者で、臨床医でもある講師から、保護命令申立事件の背景にあるDV被害者の心理について、事例を挙げ、専門的見地からの分析を交えて解説をいただいたものです。 |
| その他 | H27 | 知的財産研究会1 | 講演と意見交換「〃」の講演録 | 〃 氏 | 古代ギリシャの哲学者、〃の研究の第一人者である講師に、〃の思想の特徴や、〃の著作の構造や読み方などについて、講演していただいたもの。 |
| 民事（行政） | H27 | 行政基礎研究会B | 講演「〃」の講演録 | 〃 氏 | 〃という視点から、主として平成20年代の行政裁判の動向について、具体例を取り上げながら、説明していただいたもの。 |
| 民事（金融・経済） | H27 | 民事実務研究会（金融経済2） | 講演と意見交換「金融活動と自律的な取引：ソフトウェア研究の発展と在り方等について」の講演録 | 〃 氏 〃 氏 | 現代の現象としてのソフトウェアと、その研究アジェンダについて御紹介いただき、ソフトウェアの経済論や、ソフトウェアとハードウェアの相互関係、ソフトウェアに対する裁判所の在り方等について御講演いただいたもの。 |
| 民事（行政） | H27 | 行政基礎研究会A・行政実務研究会 | 講演「地方自治と住民訴訟について-今後の展望を含めて-」の講演録 | 〃 氏 | 住民訴訟の現代的課題について説明していただいた上で、請求権保護の拡大をめぐる裁判所と立法府、自治体からの行政訴訟の新しい仕組などの中で、住民訴訟の位置付け等につき、講演していただいたもの。 |
| 刑事（裁判員） | H27 | 刑事実務研究会（裁判員3） | 講演「公判前整理手続の現状と課題」の講演録 | 〃 氏 | 研究員の立場から、公判前整理手続の現状と課題をテーマとして、研究員整理の在り方、裁判所の在り方について御講演いただいたもの。 |
| 民事（IT） | H27 | 民事実務研究会（IT） | 共同研究「ソフトウェア開発関係訴訟をめぐる整理運営上の諸問題」の結果概要 | 東京地方裁判所判事 片野正樹 氏 弁護士 上山浩 氏 東京地方裁判所民事調停委員・専門委員 野尚也 氏 | 平成27年7月7日に行われた上記の共同研究の結果を資料化したもの。ソフトウェア開発関係訴訟における紛争全体像の把握（時系列別の把握）、仕組認定の在り方、争点整理の在り方、技術説明書の活用、専門家の活用等について共同研究を行ったもの。 |
| 民事（通常） | H27 | 特別研究会3（民事事件処理の充実） | 共同研究「個別」合意の在り方と合意における協議の役割」の結果概要 | 最高裁判所事務総局民事局長 曾野雅之 氏 | 合意の意義及び合意・単独事件の振り分け、合意の効力、合意における協議の役割、個別について、事例に基いて説明をした上で、全体討論を行い、講師にコメントをいただいたもの。 |
| その他 | H27 | 中堅判事研究会 | 講演「プロフェッショナルとしての裁判官に期待するもの」の講演録 | 弁護士 奥宮京子 氏 弁護士 後藤裕 氏 | 昨年9月7日に行われた上記カリキュラムの講演録です。弁護士としての立場から、最近の裁判官の仕事ぶりや裁判の内容等を踏まえ、プロフェッショナルとしての裁判官に期待するものというテーマで講演をいただいたものです。 |
| 民事（労働） | H26 | 労働実務研究会1 | 共同研究「労働事件の一般的問題」の結果概要 | 千葉地裁総括判事（当時） 金子直史 氏 さいたま地裁総括判事 針原道 氏 | 労働事件処理の一般的問題（資金助成、普通解雇、合意退職等）について、共同研究をおこなったもの。 |
| 民事（金融・経済） | H27 | 民事実務研究会（金融経済2） | 講演と意見交換「ファイナンスの発展から考える会社法-NPV、企業（株主）価値評価、預貸等」の講演録 | 〃 氏 | ファイナンスの基本理論であるNPV及びその応用としてのDCF法を説明していただき、上場、非上場株式の存続に関する裁判例について説明していただいたもの。 |
| 民事（IT） | H27 | 民事実務研究会（IT） | 講演と意見交換「ソフトウェア開発におけるプロジェクトマネジメント(PM)について」の講演録 | 〃 氏 | 平成27年7月6日に行われた上記の講演と意見交換を資料化したもの。ソフトウェア開発についてプロジェクトマネジメントを中心にその意義を説明していただくとともにシステム開発現場の実態、御自身の経験、プロジェクトマネジメントの具体的な内容等について御講演いただいたもの。 |
| 刑事（裁判員） | H27 | 刑事実務研究会（裁判員3） | 共同研究「裁判員裁判の現状と課題」の結果概要 | 東京地方裁判所総括判事 大野勝利 氏 刑事局第二課長（情報提供者） 福島直之 氏 | 刑の一貫執行予についての裁判員への説明、評決の取り方や、改正裁判員法等の適用について共同研究を行ったもの。 |
| 刑事（裁判員） | H27 | 刑事実務研究会（裁判員3） | 共同研究「公判前整理の在り方（全体討論）の結果概要 | 〃 氏 千葉地方裁判所総括判事 吉村昌晃 氏 刑事局第二課長（情報提供者） 福島直之 氏 | 公判前整理の在り方について、1 直接証拠型の争点整理の在り方、2 間接証拠型の争点整理の在り方、3 争点を早期かつ的確に整理するための争点整理の在り方、4 責任能力が争点となる事案における争点整理の在り方等の4つの事項に分けて意見交換を行ったもの。 |

講演録・結果概要等の掲載順一覧

※この一覧の「標題」のリンクをクリックすると、当該講演録・結果概要等が掲載された記事に遷移します。
 ※ただし、J・NETポータル「司法研修所情報データベース（ケンサン）」にログインしている場合に限りです。

| 分類 | 年度 | 研究会名等 | 標題 | 講師等 | 要旨 |
|-----------|-----|--------------------------------|--|---|---|
| 刑事（裁判員） | H27 | 刑事実務研究会（裁判員3） | 共同研究「公判審理の現状と運用上の課題」の結果概要 | 東京地方裁判所部総括判事（当時） 戸澤政治 氏 | 裁判員裁判の自白事件における人証化、争いのない事実の立証の在り方、非対象事件の審理、判決書の在り方等について意見交換を行ったもの。 |
| 民事（労働） | H26 | 労働実務研究会2 | 共同研究「労働事件を巡る実務上の諸問題」の結果概要 | 東京地裁部総括判事（当時） 古久保正人 氏 大阪地裁部総括判事 中塚内健治 氏 | 労働事件処理の実務上の諸問題（精神疾患と復職、役職定年制、同一価値労働同一賃金等）について、共同研究をおこなったもの。 |
| 民事（労働） | H26 | 労働実務研究会1・2 | 講演録「労働法制の動向と今後の展開」の講演録 | 氏 | 労働法制の近年の動向について説明をさせていただくとともに、今後に向けた動き、日本の労働法制の特徴と動きについて講演していただいたもの。 |
| 刑事（裁判員） | H27 | 刑事実務研究会（裁判員2） | 共同研究「裁判員と裁判官の実質的な協働の在り方」、意見交換「刑事裁判の現状と課題」の結果概要 | 司会 司研教官 | 共同研究「裁判員と裁判官の実質的な協働の在り方」は、観解概念、行為責任主義、事実認定（直接証拠型）に関する裁判員への説明等について意見交換を行ったもの。 意見交換「刑事裁判の現状と課題」は、当事者が重要性の低い事実を主張する場合の争点整理、供述の信用性に関する争点整理について意見交換を行ったもの。 |
| 刑事 | H27 | 特別研究会4（訴訟運営における犯罪被害者への配慮の在り方等） | 共同研究「被害者匿名事業について」の結果概要 | 司会 司研教官 | 被害者匿名事業について、起訴段階、審理・判決段階、執行段階に分けて、匿名記載の可否について共同研究を行ったもの。 |
| 刑事 | H27 | 特別研究会4（訴訟運営における犯罪被害者への配慮の在り方等） | 共同研究「被害者参加制度等に関する訴訟運営上の問題等について」の結果概要 | 司会 司研教官 | 被害者参加制度等に関する訴訟運営上の問題のうち、心情等の意見陳述の方法、被害者参加人等の訴訟行為の範囲、国選被害者参加弁護士の選定、被害者保護法による記録開示、被害者参加人等の公判前整理手続待機等について意見交換を行ったもの。 |
| その他 | H27 | 部総括裁判官研究会 | 講演と意見交換「「基子」からマネジメントとリーダーシップを学ぶ」の講演録 | 氏 | 平成27年7月2日に行われた上記の講演と意見交換を資料化したものです。 リーダーに必要な組織観・証言観・人間観、よき経営者とリーダーの一般論について御解説の上、講演を題材に組織におけるマネジメントとリーダーシップについて御説明いただいたものです。 |
| その他 | H26 | 裁判基礎研究会（第2回） | 講演と意見交換「『基子』からマネジメントとリーダーシップを学ぶ」の講演録 | 氏 | 平成26年9月5日に行われた上記カリキュラムの講演を資料化したものです。 近代に大きく発展した諸分野の基礎にある理念的な人間観が現代の知見として「自然化」と呼ばれるような顔らぎを見ており、経済学もその例外ではないということも踏まえ、現在提示されている社会情勢についてもご紹介いただいています。 |
| 民事（金融・経済） | H27 | 部総括裁判官研究会 | 講演と意見交換「日本の社会経済の現状と課題」の講演録 | 氏 | 平成27年6月29日に行われた上記の講演と意見交換を資料化したものです。 日本の社会経済の現状と課題について御解説の上、日本経済の過去と現在、アベノミクス、成長戦略、財政の持続性など詳細に御説明いただいています。 |
| その他 | H27 | 部総括裁判官研究会 | 講演「グローバル化時代に求められるもの～コミュニケーションと問題解決のスキル～」の講演録 | 氏 | 平成27年6月30日に行われた上記カリキュラムにおける講師の資料です。 |
| 刑事 | H26 | 刑事実務研究会（基本2） | 講演「刑事裁判官に期待するもの」の講演録 | 元大阪高等裁判所長官（現弁護士） 永井敏雄 氏 | 平成27年3月2日に行われた上記の講演を資料化したものです。 |
| 民事（IT） | H26 | 裁判基礎研究会（第3回） | 講演とパネルディスカッション「インターネットと人間・社会」の講演録等 | 氏、氏、氏、氏、氏 | 平成26年11月19日に行われた上記カリキュラムを資料化したものです。 |
| 刑事 | H27 | 刑事基礎研究会 | 講演「刑事裁判について」の講演録 | 東京高等裁判所部総括判事（現さいたま地方裁判所長） 河合隆司 氏 | 6月2日に行われた上記カリキュラムの講演を資料化したものです。 |
| 刑事 | H26 | 刑事基礎研究会 | 講演「刑事裁判について」の講演録 | 東京高等裁判所部総括判事 村瀬均 氏 | 平成26年6月3日に行われた上記カリキュラムの講演を資料化したものです。 |
| 刑事 | H27 | 特別研究会1（刑の一部執行猶予） | 講演と意見交換「保護観察の実情等について」の資料等 | 法務省保護局観察課長 今福章二 氏 法務省保護局付 新井杜夢 氏 | 保護観察処遇の実情、保護観察の相当性・処遇の効果、保護観察付一部執行猶予に対する処遇の内容等に関するレジュメと資料 |
| 民事（通常） | H27 | 刑事基礎研究会 | 講演「民事裁判について」の講演録 | 前・東京高等裁判所部総括判事（現・東京家庭裁判所長） 田村幸一 氏 | 6月1日に行われた上記カリキュラムの講演を資料化したものです。 |
| 刑事 | H27 | 特別研究会1（刑の一部執行猶予） | 講演と意見交換「刑事施設における矯正処遇の実情等について」の資料等 | 法務省矯正局成人矯正課長 松田治 氏 法務省矯正局成人矯正課補佐官 島山智行 氏 | 受刑者処遇の基本的枠組み、受刑者犯罪・業物事犯者に対する矯正処遇の実態、刑の一部執行猶予制度の施行に伴う矯正の対応に関するレジュメと資料 |
| 刑事 | H27 | 特別研究会1 | 講演「刑の一部執行猶予と量刑判断」の講演録 | 氏、氏 | 研究者の立場から、刑の一部執行猶予の制度趣旨、実質的要件、量刑判断の在り方等について御講演いただいたもの。 |
| 民事（建築） | H26 | 民事実務研究会（建築1・2） | 講演と意見交換「建築基準法の考え方」の講演録等 | 氏、氏 | 平成26年10月28日に行われた講演と意見交換を資料化したもの。 審判部として、建築基準法から、建築基準法による規制の必要性、規制のメカニズム、建築基準法等の建築基準法の考え方について講演いただき、第2部として、建築基準法から、建築基準法の発想の趣旨、構成、2項道路等他の関連規定の課題について御説明いただいたもの。 |
| 民事（行政） | H26 | 行政基礎研究会2 | 共同研究「行政事件の事件動向と審理運営上の問題点」の結果概要 | 大阪地方裁判所部総括判事 西田隆裕 氏 行政局第2課長 日置朋弘 氏 | 多岐な類型の事件や集団訴訟等、社会的影響の大きい行政事件の審理運営について、事件動向の情報提供をしていただいた上で、共同研究を行ったもの。 |
| 民事（行政） | H26 | 行政基礎研究会2 | セミナー（個別）「行政事件における法令解釈について」の結果概要 | 東京地方裁判所部総括判事 増田裕 氏 同 小林宏司 氏 | 行政法規の解釈が問題となる具体的事例について、事前に行われた個別討論を踏まえ（なお、個別討論は講演録等に含まれていない）、全席討論をした上で、講師から行政法規の解釈手法につきコメントをしていただいたもの。 |
| 民事（建築） | H26 | 民事実務研究会（建築2） | 講演と意見交換「木造住宅の構造設計」の講演録 | 氏 | 平成26年10月29日に行われた上記の講演と意見交換を資料化したものです。 建築の構造（耐震）設計や耐震基準、建築物の構造設計と構造計算について木造建築を中心に御説明いただくとともに、木造住宅の構造設計や施工の実態などについても御説明いただいたものです。 |
| 民事（建築） | H26 | 民事実務研究会（建築2） | 共同研究「建築関係訴訟の審理運営上の諸問題」の結果概要 | 大阪地裁部総括判事 徳岡由美子 氏 民事局第2課長 鎌多分宏 氏 | 建築関係訴訟に関し、追加・変更工事項目、取壊項目の整理の在り方、専門委員の説明の記録化などについて共同研究を行い、資料化したものです。 |
| 民事（行政） | H26 | 行政基礎研究会2 | 講演「行政法規の制定過程 条文構造等とその解釈」についての講演録 | 東京地方裁判所部総括判事 森英明 氏 | 行政法規の制定過程について、一般的な説明をさせていただいた上で、土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律の一部を改正する法律、同法による改正前の法律及びその下位にある法令を題材として、行政法規の制定過程及びそれを踏まえた解釈の在り方について講演していただいたもの。 |
| 民事（IT） | H26 | 裁判基礎研究会（第3回） | 講演と意見交換「インターネットの思想、歴史」の講演録 | 氏 | クラウドサービスとクラウドソーシングという今のインターネット技術を持っている講師の考え方について、歴史的なインターネット技術のあり方を解説していただいたもの。 |
| 民事（医療） | H26 | 講演会（医療） | 講演「歯科一貫治療について」の講演録 | 氏 | 歯科の専門分野や歯とその周囲組織の解剖学について解説の上、根管治療についての手法や治療法など詳細に御説明いただいたもの。 |
| 民事（金融・経済） | H26 | 民事実務研究会（金融経済）（第1回） | 講演と意見交換「信託—その概要と諸相」の講演録 | 氏 | 信託の概要として、日本法における信託とはどういふものか、信託の種類として、各国における信託の幅に触れられた上で、信託のイメージについて講演していただいたもの。 |
| その他 | H26 | 特別研究会（第5回） | 講演「職業録音のある人へのわかりやすい伝え方～法廷活動を通じて感じたこと～」の講演録 | 弁護士 山田浩 氏 | 1月15日に行われた上記カリキュラムの講演を資料化したものです。 法廷あるいは受付段階における聴覚障害者とのコミュニケーションの在り方について、ふんばんに具体例を挙げながら解説されています。 |

講演録・結果概要等の掲載順一覧

※この一覧の「標題」のリンクをクリックすると、当該講演録・結果概要等が掲載された記事に遷移します。
 ※ただし、J・NETポータル上の「司法研修所情報データベース（ケンサン）」にログインしている場合に限りです。

| 分類 | 年度 | 研究会名等 | 標題 | 講師等 | 要旨 |
|-----------|-----|----------------------|---|---|--|
| その他 | H26 | 知的基盤研究会（第2回） | 講演「法的思考と正義について」の講演録 | 氏 | 11月21日に行われた上記カリキュラムの講演を資料化したものです。 本講演では、「法哲学における正義論の見取り図」とのサブタイトルの下に、正義についての様々な考え方の関係・位置付けについて、法哲学を学んだことのない者にとっても理解することができるように、分かりやすく説明されています。 |
| 民事（建築） | H26 | 民事実務研究会（建築1） | 講演「の全体像」の講演録 | 氏 | 建築生産プロセスを理解するための前提知識として、各プロセスに携わる設計者、施工者、工事管理者の立場や求められる役割を解説していただくとともに、よりよい建築物を仕上げていくために必要な発注者と協働等についても御説明いただいたもの。 |
| 民事（金融・経済） | H26 | 民事実務研究会（金融経済・第2回） | 講演と意見交換「監督当局からみた金融機関の融資業務の課題」の講演録 | 金融庁総務企画局参事官（金融モニタリング担当） 堀本善雄 氏 | 金融監督行政の基本的考え方について紹介していただいた上、金融モニタリング基本方針の概要や、監督官庁からみた銀行（金融機関）の実務について御説明いただいたもの。 |
| 民事（その他） | H26 | 特別研究会（第3回、倒産） | 共同研究「中小規模倒産における破産管財人選任の適正迅速化を阻害する事情とその改善策」の結果概要 | 東京地裁部総括判事 中山孝雄 氏 大阪地裁部総括判事 森岡子 氏 民事局第一課長兼第三課長（情報提供） 堀田千恵子 氏 | 平成26年9月29日に行われた上記カリキュラムの講演を資料化したものです。 |
| 民事（その他） | H26 | 特別研究会（第3回、倒産） | 講演と意見交換「中小規模倒産における倒産事件処理の課題」の講演録 | 弁護士 山田尚武 氏 弁護士 八木 宏 氏 | |
| 民事（行政） | H26 | 行政基礎研究会1、行政実務研究会 | 講演「日本の社会保障制度・政策の法的基盤問題」の講演録 | 氏 | 社会保障制度の基本構造と主要制度の相互関連の概要について説明していただいた上で、社会保障給付の給付の憲法適合性の司法審査の在り方について講演していただいたもの。 |
| その他 | H26 | 中堅判事研究会 | 講演「『いまここ』を真剣に生きる」の講演録 | 氏 | 平成26年9月8日に行われた講演等を資料化したものです。 |
| 民事（医療） | H26 | 民事実務研究会（医療） | 講演と意見交換「急性症の診断と治療」の講演録 | 氏 | 急性症の定義と一般的な診断・治療の方法について御説明いただくとともに、急性症の中でも特に問題になりやすい閉塞性、消化管穿孔などの疾患について、その診断・治療における留意点を具体的な症例紹介を交えて御説明いただいたもの。 |
| 民事（行政） | H26 | 行政実務研究会 | 共同研究「行政事件の管理・運営をめぐる諸問題」の結果概要 | 東京地方裁判所判事 八木一洋 氏 大阪地方裁判所判事 田中健治 氏 | 行政事件（主に社会保障事件）で直面している実体法上、手続法上又は管理運営上の問題（保護基準改定の適否をめぐる生活保護事件（集団訴訟）の管理運営、海外渡航を理由とする生活保護費返還処分に係る取消訴訟の管理運営等）について、共同研究を行ったもの。 |
| 民事（労働） | H25 | 労働実務研究会1・2 | 講演と意見交換「労働法制の動向と今後の展望」の講演録 | 独立行政法人労働政策研究・研修機構理事長 菅野和夫 氏 | 労働法制の近年の動向について説明していただくとともに、今後の展望を規制改革・日本型雇用システムのそれぞれとの関連で講演していただいたもの。 |
| 民事（IT） | H26 | 民事実務研究会（IT） | 共同研究「ソフトウェア開発関係訴訟を巡る管理運営上の諸問題」の結果概要 | 東京地裁判事 西森政一 氏 札幌地裁小樽支部判事 遠藤東路 氏 東京地裁民事四部委員・専門委員 芳村宏 氏 東京地裁民事調停委員・専門委員 平野尚也 氏 | ソフトウェア開発関係訴訟における争点整理手続の活性化、動作実験や技術説明会を実施する際の留意点、IT専門家を活用などについて共同研究を行ったもの。 |
| 民事（通常） | H26 | 中堅判事研究会 | 講演と意見交換「裁判について考える—裁判と裁判官の修練について—（民事事件）」の講演録 | 東京高等裁判所判事 奥田隆文 氏 | 9月9日に行われた講演等を資料化したものです。 |
| 刑事 | H26 | 中堅判事研究会 | 講演と意見交換「裁判について考える（刑事事件）」の講演録 | 東京高等裁判所判事 八木正一 氏 | 9月9日に行われた講演等を資料化したものです。 |
| 民事（医療） | H26 | 民事実務研究会（医療） | 講演と意見交換「救急医療—救急の診断について」の講演録 | 氏 | 救急医療の現状と課題について概略を御説明いただくとともに、救急医療の場面で特に問題となりやすい短時間の診断の際の思考過程について、具体的な症例の検討を交えて、分かりやすく御説明いただいたもの。 |
| 民事（労働） | H25 | 労働実務研究会2 | 共同研究「労働事件を巡る実務上の諸問題」の結果概要 | 東京地裁部総括判事 古久保正人 氏 大阪地裁部総括判事 中塚内健治 氏 | 労働事件に関する近時の事件動向を踏まえた発展的課題や実体法上の種別問題等について、共同研究を行ったもの。 |
| 民事（労働） | H25 | 労働実務研究会 | 共同研究「労働事件の一般的問題」の結果概要 | さいたま地裁部総括判事（当時） 藤下健 氏 東京地裁判事 中吉敬郎 氏 | 労働事件における一般的問題（解雇、雇止め、時間外手当等）について、共同研究を行ったもの。 |
| 民事（通常） | H26 | 特別研究会（第1回、民事事件処理の充実） | 講演及び意見交換「民事事件の処理の活性化と関係法の在り方」の講演録 | 前橋地方裁判所長（前最高裁判所事務総局民事局長） 永野厚輝 氏 | 平成26年7月14日に行われた上記カリキュラムの講演を資料化したものです。 民事裁判の課題、法の機能の活性化の在り方等について、講演と、引き継ぎ意見交換が行われています。 |
| 民事（通常） | H25 | 特別研究会（第6回、複雑困難訴訟） | 共同研究（パネルディスカッション）「社会と科学技術の相互作用の諸相」の結果概要 | 氏 氏 氏 | |
| 民事（通常） | H25 | 特別研究会（第6回、複雑困難訴訟） | 講演と意見交換「科学と法の境目で考えるべき問題、科学技術社会論の立場から」の講演録 | 氏 | 平成26年2月17日に行われた上記カリキュラムの講演を資料化したもの。 科学技術社会論、科学哲学を専門としている講師に、現代社会における科学技術の社会的・政治的意味や、いわゆる「科学的知見」には科学的要素の観点だけでなく、社会的合理性の観点や政策的判断の観点も含まれること等について御講演いただいたもの。 |
| 民事（通常） | H26 | 判事補基礎研究会 | 講演「民事裁判について」の講演録 | 東京高等裁判所部総括判事 大竹たかし 氏 | 平成26年6月2日に行われた上記カリキュラムの講演を資料化したものです。 事案の解明と整理、民事裁判を担当する裁判官に求められるスキル、判決の書き方などについて講演されています。 |
| その他 | H26 | 裁判基礎研究会（第1回） | 講演と意見交換「日本社会におけるコミュニケーションの文化的特徴～その強みと弱み～」の講演録 | 氏 | 平成26年7月2日に行われた上記カリキュラムにおける講演を資料化したものです。 コミュニケーションの学術的な定義・分類のほか、日本社会におけるコミュニケーションの特徴とその文化的背景から日本社会におけるコミュニケーションの抱える課題まで、コミュニケーションにまつわる幅広い話題について、後つかの事例を交えながら分かりやすく御説明いただいています。 講演資料はデータ容量が大きいので、印刷出力を行う際には留意してください。 |
| 民事（IT） | H25 | 民事実務研究会（IT） | 講演と意見交換「ウォーターフォール型開発を巡る知念の背景事情」の講演録 | 東京地裁民事調停委員・専門委員 久保達 氏 弁護士 脇谷英夫 氏 | 一般的開発手法であるウォーターフォール型開発を念頭に、IT専門家事裁判からシステム開発の基礎知識や開発実務について御説明いただいた上、弁護士講師からそのような開発実態を法的にどう理解・評価すべきかについて御説明いただいたもの。 |
| 民事（通常） | H26 | 特別研究会（第1回、民事事件処理の充実） | 講演と意見交換「高裁から見た民事訴訟の現状と課題」の講演録 | 東京高等裁判所部総括判事 瀧澤泉 氏 | 平成26年7月4日に行われた上記カリキュラムの講演を資料化したものです。 高裁から見た民事第一審の整理や判決の実情、訴訟実務運営に当たり留意すべき点などについて講演されています。 |
| 民事（行政） | H25 | 行政実務研究会 | 共同研究「行政事件の管理・運営をめぐる諸問題」の結果概要 | 東京地方裁判所部総括判事（当時） 川神祐 氏 大阪地方裁判所部総括判事 田中健治 氏 | 行政事件に関する実体法上、手続法上又は管理運営上の問題（執行停止、原告過格等）について、共同研究を行ったもの。 |
| その他 | H26 | 簡易裁判所実務研究会 | 講演「民事裁判について—簡易民事事件を中心に」の講演録 | 東京簡易裁判所判事 島田清次郎 氏 | 4月23日に行われた上記カリキュラムの講演を資料化したものです。 |
| 民事（行政） | H22 | 行政実務研究会 | 共同研究「行政事件の管理・運営を巡る諸問題」の結果概要 | 東京地裁判事 杉原則彦 氏 大阪地裁判事 吉田 敏 氏 | 行政事件に関する実体法上、手続法上又は管理運営上の問題（処分性、原告過格、差止訴訟、確認訴訟等）について、共同研究を行ったもの。 |
| 人事訴訟 | H22 | 家事実務研究会 | 共同研究「人事訴訟法の運用を巡る諸問題」の結果概要 | 東京地裁判事 松津節子 氏 外2名 | 本研究会では、人事訴訟事件の適正・迅速な解決を図るための運用を巡る諸問題について、意見交換が行われましたので、その結果概要を掲載しました。 |

講演録・結果概要等の掲載順一覧

※この一覧の「標題」のリンクをクリックすると、当該講演録・結果概要等が掲載された記事に遷移します。
 ※ただし、J・NETポータル「司法研修所情報データベース（ケンサン）」にログインしている場合に限りです。

| 分類 | 年度 | 研究会名等 | 標題 | 講師等 | 要旨 |
|-----------|-----|-----------------------------|---|---|--|
| 家事 | H22 | 特別研究会（第7回、家事審判法改正を巡る諸問題） | 共同研究「家事審判法の運用を巡る諸問題」の結果概要 | 東京家裁裁判所判事 長秀之 氏 外2名 | 本共同研究では、改正の内容が固まりつつある家事審判法を踏まえて、その運用を巡る問題点を取り上げ、意見交換が行われました。 |
| 民事（医療） | H24 | 民事実務研究会（医療1） | 共同研究「集中部における医療訴訟の整理について(1)(2)の結果概要 | 司会 司研教官 | 医療訴訟における実体法上及び審理運営上の諸問題について共同研究を行ったもの。 |
| 民事（その他） | H23 | 特別研究会（第3回、倒産・個人破産、個人再生） | 共同研究「個人の倒産手続の運用上の諸問題」の結果概要 | 東京地裁総括判事 鹿子木康 氏 外1名 | 現場で個人の倒産手続を処理する際の陥穽等に対する考え方について、実務家を講師に迎えて活発な議論が行われました。 |
| 家事 | H22 | 家事実務研究会 | 共同研究「家事審判法改正を見据えた三審制間の協議連携の在り方について」の個別討議の要旨 | (裁判所職員総合研修所と合同実施) | |
| 家事 | H24 | 家事実務研究会 | 共同研究「家事事件手続法等の旅行を契機とした履修調停手続の運用改善について」の個別討議の要旨 | (裁判所職員総合研修所と合同実施) | |
| 民事（通常） | H24 | 特別研究会（第9回、複雑困難訴訟） | 共同研究「複雑困難訴訟を巡って」の結果概要 | ■■■■■■■■■■ 氏 外4名 | |
| 民事（建築） | H25 | 民事実務研究会（建築） | 共同研究「建築関係訴訟の審理運営上の諸問題」の結果概要 | 大阪地方裁判所総括判事 徳岡由美子 氏 民事局第二課長（情報提供） 福田千恵子 氏 | 建築関係訴訟における争点整理手続の活性化、適切な取次一覧表の作成方法、専門家（特に専門委員）の活用などについて共同研究を行ったもの。 |
| 家事 | H23 | 家事実務研究会 | 共同研究「子のある夫婦の離婚調停事件における運用上の諸問題」の個別討議の要旨 | (裁判所職員総合研修所と合同実施) | 離婚調停事件の実務の現状と課題を踏まえて、特に、家事事件手続法の趣旨を踏まえて、子のある夫婦の離婚調停事件の運用における裁判官、裁判所書記官及び家庭裁判所調査官の役割、連携の在り方等について個別討議を行いました。 |
| 家事 | H23 | 特別研究会（第6回、家事事件手続法の運用を巡る諸問題） | 共同研究「家事事件手続法の運用を巡る諸問題」の結果概要 | 司会 司研教官 | 本共同研究では、改正の内容が固まりつつある家事審判法を踏まえて、その運用を巡る問題点を取り上げ、意見交換が行われました。 |
| 民事（行政） | H21 | 行政実務研究会 | 共同研究「行政事件の管理・運営を巡る諸問題」の結果概要 | 東京地裁判事 杉原剛彦 氏 大阪地裁判事 吉田徹 氏 | 行政事件に関する実体法上、手続法上又は審理運営上の問題（処分性、訴訟参加、違法性の承継、仮の差止め、差押付け訴訟）について、共同研究を行ったもの。 |
| 刑事（裁判員） | H24 | 刑事実務研究会（第2回） | 共同研究「裁判員裁判の現状と課題」の結果概要 | 司会 司研教官 | 裁判員裁判の現状と課題（審理期間及び公判前整理手続期間の短縮について、自白事件における人証活用の在り方、判決書の在り方など）について共同研究を行ったもの。 |
| 民事（金融・経済） | H24 | 特別研究会（第6回、金融商品を巡る諸問題） | 共同研究「金融商品取引を巡る諸問題」の結果概要 | 東京地方裁判所総括判事 矢尾沙 氏 | 金融商品取引を巡る訴訟における実体法上及び審理運営上の諸問題について共同研究を行ったもの。 |
| 民事（医療） | H25 | 民事実務研究会（医療1） | 共同研究「集中部における医療訴訟の整理について(1)(2)の結果概要 | 司会 司研教官 | 医療訴訟における争点整理手続の活性化、協力医の活用、専門委員の活用、専門委員による説明の範囲とその記録の方法などについて共同研究を行ったもの。 |
| 民事（行政） | H23 | 行政実務研究会 | 共同研究「行政事件の管理・運営を巡る諸問題」の結果概要 | 東京地裁判事 川村裕 氏 大阪地裁判事 山田明 氏 | 行政事件に関する実体法上、手続法上又は審理運営上の問題（違法性の承継、訴えの利益、処分性）について、共同研究を行ったもの。 |
| 民事（医療） | H25 | 民事実務研究会（医療1） | 共同研究「相当程度の可能性と期待権について」の結果概要及び個別討議の要旨 | ■■■■■■■■■■ 氏 | 講師から相当程度の可能性と期待権に関する最高裁判決の特典などを御説明いただき、その後、共同研究を行ったもの。 |
| 民事（その他） | H23 | 特別研究会（第3回、倒産・個人破産、個人再生） | 共同研究「個人の倒産手続の法上の諸問題」の結果概要 | ■■■■■■■■■■ 氏 外4名 | 現場で個人の倒産手続を処理する際の陥穽等に対する考え方について、実務家を講師に迎えて活発な議論が行われました。 |
| 民事（医療） | H25 | 民事実務研究会（医療2） | 共同研究「説明義務について」における基調講演レジュメ及び第一節「患者同意」の要旨 | ■■■■■■■■■■ 氏 | 医師の説明義務に関する講演で使用されたレジュメとその際に参考資料として配られた医師関係訴訟に関する最高裁判所判例一覧表 |
| 民事（IT） | H25 | 民事実務研究会（IT） | 共同研究「ソフトウェア開発関係訴訟を巡る審理運営上の諸問題」の結果概要 | 東京地方裁判所総括判事 富山裕 氏 札幌地裁小樽支部判事 遠藤実路 氏 東京地裁民事調停委員・専門委員 芳仲宏 氏 東京地裁民事調停委員・専門委員 平野尚也 氏 | ソフトウェア開発関係訴訟における争点整理手続の活性化、事実経過一覧表の活用、動作実験を実施する際の留意点、IT専門家の活用などについて共同研究を行ったもの。 |
| 民事（医療） | H25 | 医療基礎研究会 | 医師賠償責任保険について | 弁護士 櫻瀬慎治 氏 ■■■■■■■■■■ 氏 ■■■■■■■■■■ 氏 | 医師賠償責任保険を「診療所、病院賠償責任保険」、「勤務医賠償責任保険」及び「日本医師会医師賠償責任保険」の三つに分け、それぞれの特徴や紛争処理の流れを分かりやすく御説明いただいたもの。 |
| 刑事 | H25 | 特別研究会（第5回、精神障害と社会） | 「犯罪被害者のメンタルヘルスについてーPTSDを中心としてー」 | ■■■■■■■■■■ 氏 | PTSDの典型的症状、診断基準、治療法などについて、具体的なケースを交えながら御紹介いただいたもの。 |
| 民事（金融・経済） | H25 | 民事実務研究会（企業間取引） | 講演と意見交換「シンジケート・ローンを巡る紛争と取り組む視点」の講演録 | ■■■■■■■■■■ 氏 ■■■■■■■■■■ 氏 ■■■■■■■■■■ 氏 | シンジケート・ローン取引の基本的流れや特徴について紹介いただいた上で、いわゆるメインバンクシステムとシンジケートローンの関係やレンジャーの情報提供義務などシンジケート・ローンに関する法律問題について説明いただいたもの。 |
| 民事（建築） | H25 | 民事実務研究会（建築） | パネルディスカッション「鉄筋コンクリート造・鉄骨造の建物に関する諸問題」の結果概要 | 東京地方裁判所民事第2部総括判事 榎垣裕 氏 ■■■■■■■■■■ 氏 ■■■■■■■■■■ 氏 | 鉄筋コンクリート造・鉄骨造の建物に関する基礎知識として、建物の構造の分類の違い、地盤・基礎に由来する瑕疵、鉄筋コンクリート造建物に固有の不具合（かぶり厚不足、ひび割れ、ジャンク、ロードジョイントなど）、鉄骨造建物に固有の不具合（溶接、耐火被覆など）について、図や写真のほか、具体的な事例を交えて分かりやすく御説明いただいたもの。 |
| 刑事（裁判員） | H25 | 刑事実務研究会（第2回） | 講演「重罪からみた裁判員裁判の現状と課題」の講演録 | 大阪高等裁判所総括判事 川合昌幸 氏 東京高等裁判所判事 河本雅也 氏 | 平成25年6月24日に行われた上記カリキュラムの講演を資料化したもの。 |
| 民事（建築） | H25 | 民事実務研究会（建築） | 講演と意見交換「地盤支持力と戸建住宅の基礎の設計」の講演録 | ■■■■■■■■■■ 氏 | 戸建住宅の基礎の設計について「地盤支持力の考え方」と「液状化とその対策」の二部構成に分けて御説明いただいたもの。 |
| 民事（金融・経済） | H25 | 民事実務研究会（企業間取引） | 講演と意見交換「企業活動と保険」の講演録 | 弁護士 矢崎 雅子 氏 | 企業が利用する様々な種類の保険の内容・特徴について御紹介いただいたもの。それから問題になりうるものとして、再保険契約を巡る機軸つかの問題についても言及していただいたもの。 |
| 民事（医療） | H25 | 民事実務研究会（医療2） | 講演と意見交換「医療現場における医療安全への取組」の講演録 | ■■■■■■■■■■ 氏 ■■■■■■■■■■ 氏 | 医療現場における医療安全に向けた取組の一側として、インシデント・レポートの提出を求める意義、院内事故調査委員会の在り方、医療対話推進者による患者対応の在り方などを御紹介いただいたもの。 |
| 民事（その他） | H25 | 特別研究会（第4回、DV防止法の運用） | 講演「DVが起らない社会の実現のためにー予防・危機介入・後方支援を通して」の講演録 | ■■■■■■■■■■ 氏 | 1月27日に行われた上記カリキュラムの講演を資料化したものです。御覧女性に対する支援等について、図や具体例を交えて分かりやすく説明されています。講演ではスライドを参照しながら説明されていますので、スライドも印刷出力してご利用ください。 |
| 民事（建築） | H25 | 民事実務研究会（建築） | 講演と意見交換「建築紛争のより適切な解決に向けて」の講演録 | 弁護士・東洋大学法学部教授・一級建築士 大塚文彦 氏 | 具体的な事例を素材として、建物の構造的な安全性、瑕疵、追加変更工事、損害など建築関係訴訟の中でも特に問題となりやすい実体法上の問題を取り上げながら、最近の建築関係訴訟の動向について御説明いただいたもの。 |
| 民事（行政） | H25 | 行政基礎研究会、行政実務研究会 | 改正行政事件訴訟法における裁判員についてー改正行政事件訴訟法施行状況検証研究会での議論を踏まえてー | ■■■■■■■■■■ 氏 | 改正行政事件訴訟法施行状況検証研究会における議論の内容及び今後の課題について、講演していただいたもの。 |
| 民事（IT） | H25 | 民事実務研究会（IT） | 講演及び意見交換「パッケージ・カスタマイズ型プロジェクトを巡る紛争の背景事情」の講演録 | 弁護士 上山 浩 氏 | パッケージ・カスタマイズ型プロジェクトのメリット・デメリットを御説明いただいた上で、パッケージ・カスタマイズ型プロジェクトにおける要件定義の手法、プロジェクト・マネジメントの手法などについても御説明いただいたもの。 |
| 刑事 | H25 | 特別研究会（第5回、精神障害と社会） | 講演と質疑「裁判員裁判被害者の社会復帰についてー医療観察制度からー」の講演録 | 法務省保護局精神保健観察全面官室法務専門官 緑尾彦彦 氏 | 医療観察制度の概要、現状と課題について御説明いただいた上で、通院の義務や社会復帰していく段階について具体的なケースを交えながら御紹介いただいたもの。 |

講演録・結果概要等の掲載順一覧

※この一覧の「標題」のリンクをクリックすると、当該講演録・結果概要等が掲載された記事に遷移します。
 ※ただし、J・NETポータル「司法研修所情報データベース（ケンサン）」にログインしている場合に限りです。

| 分類 | 年度 | 研究会名等 | 標題 | 講師等 | 要旨 |
|-----------|-----|--------------------------|---|----------------------------------|--|
| 刑事 | H25 | 特別研究会（第5回、精神障害と社会） | 講演と質疑「発達障害とその周辺」の講演録 | 独立行政法人 国立成育医療研究センター理事 平野幹男 氏 | 発達障害とはどのような障害で、社会生活上どのような問題を抱えやすいかなどといったことについて、具体的な事例を交えながら御説明いただいたもの。 |
| 民事（医療） | H25 | 講演会（医療） | 講演「歯科（矯正治療と不正咬合）について」の講演録 | 氏 | 歯科治療の中でも特に難解な矯正治療の分野について、不正咬合の定義・検査・診断・治療などの基礎知識を中心として御説明いただいたもの。 |
| その他 | H25 | 裁判基礎研究会（第2回） | 講演「長寿社会の質と可能性」の講演録 | 氏 | 平成25年11月19日に行われた上記カリキュラムにおける講演を資料化したものです。 |
| 少年 | H25 | 少年実務研究会 | 講演「今、少年司法を変える」の講演録 | 氏 | 昨年9月18日に行われた上記カリキュラムの講演を資料化したものです。 |
| 民事（医療） | H25 | 民事実務研究会（医療1・2） | 講演と意見交換「産科（周産期医療）について」の講師による講演の講演録 | 氏 | 産科（周産期医療）の中でも特に問題となりやすい常位胎盤早期剥離、羊水塞栓症、胎盤出血の病態、診断、治療の実際を中心として、その診断に当たり重要な役割を担う分娩監視の基本的な方法、胎児心拍数異常の基本的な見方を御説明いただいたもの。 |
| 民事（医療） | H25 | 民事実務研究会（医療1・2） | 講演と意見交換「産科（周産期医療）について」の講師による講演の講演録及び意見交換 | 氏 | 産科（周産期医療）の中でも特に問題となりやすい常位胎盤早期剥離、羊水塞栓症、胎盤出血の病態、診断、治療の実際を中心として、その診断に当たり重要な役割を担う分娩監視の基本的な方法、胎児心拍数異常の基本的な見方を御説明いただいたもの。 |
| 民事（金融・経済） | H25 | 民事実務研究会（金融経済） | 講演と意見交換「日本経済の現状と課題～アベノミクスで日本経済はどう変わるか～」の講演録 | 氏 | 日本経済の現状（平成25年10月時点）と今後の展望について御紹介いただいたもの。デフレ対策や消費増税などといった講演時点における各種政策が経済活動にどのような影響を与えるのかということについても御説明いただいたもの。 |
| 民事（金融・経済） | H25 | 民事実務研究会（企業間取引） | 講演と意見交換「我が国実務におけるコーポレートガバナンスの課題」の講演録 | 氏 | 平成25年11月国会に提出された会社法改正案について、会社法見直し案の新たな重要な課題を御説明いただいたもの。また、改正会社法案のうち、社外取締役の義務付け、監査等委員会設置会社制度、多重代表訴訟などについてそれぞれの課題を含め言及されている。 |
| 民事（建築） | H25 | 民事実務研究会（建築） | 講演と意見交換「構造設計の考え方」の講演録 | 氏 | 構造設計の基本的な考え方を理解するための前提知識として、構造計算書・設計図書について御説明いただいたもの。その上で、建物の構造欠陥、耐震スリット、コンクリートのひび割れ、耐震補強、振動などのトピックについて御説明いただいたもの。 |
| その他 | H25 | 裁判基礎研究会（第2回） | 人口減少・超高齢化と日本経済 | 氏 | 11月20日に行われた上記カリキュラムの講演を資料化したものです。 |
| 民事（金融・経済） | H25 | 民事実務研究会（金融経済） | 講演「デリバティブの仕組み成り立ち」について～為替デリバティブを中心に～の講演録 | 氏 | 講演録中に、資料として掲載したスライドの番号を記載してありますので、併せてご参照下さい。 |
| 民事（金融・経済） | H25 | 民事実務研究会（金融経済） | 講演「デリバティブ訴訟について」の講演録 | 氏 | デリバティブの仕組み、理論の考え方などについて御説明いただいた上で、後半部分において、裁判例で問題となった具体的な商品と題材に、当事者それぞれの特徴にも言及しながら、リスク分析の考え方などについて御紹介いただいたもの。 |
| 民事（金融・経済） | H25 | 民事実務研究会（金融経済） | 講演「デリバティブ訴訟について」の講演録 | 氏 | 金融商品取引法を巡る最高裁判例（適合性原則に関する平成17年判例、説明義務に関する平成25年判例）について御紹介いただいた上で、デリバティブ取引に関する法律的問題点について、具体的な裁判例を交えながら御説明いただいたもの。 |
| 民事（金融・経済） | H25 | 民事実務研究会（金融経済） | 講演「仕組み（ストラクチャー）と法主体（ヴィークル）」の講演録 | 弁護士 井上聡 氏 | 企業金融と仕組金融の相違点を御説明いただいた上で、仕組金融において生じる法律問題（真正譲渡性の確保、コミングリングリスクなど）について整理、御説明いただいたもの。また、具体的な取引例を示しながら、ヴィークルの使われ方やヴィークル選択の視点などについても御紹介いただいたもの。 |
| 民事（金融・経済） | H25 | 民事実務研究会（金融経済） | 講演「証券化の基礎と業務」の講演録 | 氏 | 証券化の目的、メリットや証券化スキームにおいて利用される各種ヴィークルの特徴などといった証券化の基礎について、具体的な証券化スキーム例を交えながら御説明いただいたもの。講演資料の末尾には講師作成に係る証券用語の説明集がある。 |
| 民事（IT） | H25 | 講演会（IT） | 講演「インターネットと検索エンジンについて」の講演録 | 氏 | Webサイトと検索エンジンの基本的な仕組みのほか、最近の検索エンジンが進んでいる追加機能について御説明いただいたもの。 |
| 民事（金融・経済） | H25 | 民事実務研究会（金融経済） | 講演と意見交換「金融・経済取引と消費者保護法理等のあり方」の講演録 | 氏 | 金融商品取引法における債務記載があった場合の損害の考え方、株式買収請求権が行使された場合の公正な価格決定の考え方などについて、裁判例を踏まえながら御説明いただいたもの。なお、本講演は司法研修所論集123号にも収録されている。 |
| その他 | H25 | 裁判基礎研究会（第1回） | 講演と意見交換「再生医療の基礎理論としての生命科学～再生医療の現代的課題を中心とした」の講演録 | 氏 | 7月1日に行われた上記カリキュラムの講演を資料化したものです。再生医療の基礎にある生命科学の考え方について御説明いただいた上で、iPS細胞などの再生医療の現状と課題についても多角的な視点から御紹介いただきました。講演資料はデータ容量が大きいため、印刷出力を行う際には留意してください。 |
| その他 | H25 | 裁判基礎研究会（第1回） | 再生医療についての行政の取組み | 氏 | 7月3日に行われた上記カリキュラムの講演を資料化したものです。 |
| その他 | H25 | 職員裁判所判事特別研究会 | 「控訴審からみた簡易民事交通事件」 | 東京簡易裁判所司法事務管理裁判官 阿部潤 氏 | |
| その他 | H25 | 判事補基礎研究会 | 「プロフェッショナルとしてのキャリア形成について」 | 氏 | |
| その他 | H25 | 民事訴訟運営実務研究会 | アダムスミスが示唆するもの | 氏 | |
| 民事（金融・経済） | H24 | 特別研究会（第6回、金融商品を巡る諸問題） | 金融資本市場法制について～金融商品取引法及び関係法を中心に～ | 金融庁総務企画局参事官 三井秀範 氏 | 立法担当の立場から、証券取引法から金融商品取引法への改組をはじめとした金融商品取引に関する規制の歴史的経緯や、その背景思想などについて御説明いただいたもの。 |
| 民事（金融・経済） | H24 | 民事実務研究会（金融経済） | M&Aの契約事項を巡る諸問題 | 氏 弁護士 岩倉正和 氏 弁護士 宇野裕一郎 氏 等 | M&A取引の具体的な流れや取引当事者の視点について御紹介いただき、その上で、M&A取引契約に関する一般的な留意点、非上場会社と上場会社のM&A取引それぞれの場合における契約事項を巡る諸問題の特徴について御説明いただいたもの。 |
| 刑事（裁判員） | H25 | 刑事実務研究会（第1回） | 高裁から見た裁判員裁判の現状と課題 | 東京高等裁判所総括判事 山崎 学 氏 | |
| 民事（医療） | H24 | 医療基礎研究会 | 近時の裁判例にみる医師の説明義務をめぐる問題 | 氏 | 近時の裁判例を概観しながら、説明義務の内容・方法・時期、説明義務違反と医療者の間の因果関係、説明義務違反による被侵害者利益が自己決定権であると解することの是非など、医師の説明義務を巡る諸問題について御説明いただいたもの。 |
| 民事（通常） | H21 | 民事訴訟運営実務研究会 | 控訴審から見た民事判決書（雑感） | 最高裁判所民事上席調査官 綿引万里子 氏 | |
| 民事（金融・経済） | H24 | 特別研究会（第6回、金融商品の取引を巡る諸問題） | 仕組債等の仕組み・成り立ちについて | 氏 | 前半部分においてデリバティブ取引の一般的な内容について御説明いただき、後半部分において仕組債の特徴などを踏まえて、裁判例で問題となった金融商品を取り上げながら、仕組債のリスク分析の在り方などを御紹介いただいたもの。 |

講演録・結果概要等の掲載順一覧

※この一覧の「標題」のリンクをクリックすると、当該講演録・結果概要等が掲載された記事に遷移します。
 ※ただし、J・NETポータル「司法研修所情報データベース（ケンサン）」にログインしている場合に限りです。

| 分類 | 年度 | 研究会名等 | 標題 | 講師等 | 要旨 |
|-----------|-----|--------------------------|------------------------------------|---|--|
| 民事（通常） | H24 | 特別研究会（第9回、複雑困難訴訟） | 複雑困難訴訟を巡って | 東京高等裁判所総括判事 齋藤隆 氏 | |
| 民事（通常） | H24 | 特別研究会（第8回、民法（債権法）改正） | 民法（債権関係）改正が実務に与える影響 | 弁護士 中井康之 氏 外4名 | |
| その他 | H24 | 裁判官勉強研究会 | プライバシー・個人情報保護に関する最近の動向 | ■■■■■ 氏 | |
| 刑事 | H24 | 刑事実務研究会（第2回） | 講演と質疑「広汎性発達障害について」 | ■■■■■ 氏 ■■■■■ 氏 | 広汎性発達障害とはどういうものか、その障害の特性と社会的問題がどのような形で関係しているのかということについて、具体例も交えながら御説明いただいたもの。 |
| 民事（通常） | H24 | 特別研究会（第8回、民法（債権法）改正） | 民法（債権関係）部会の審議状況及び今後の課題 | 法務省大法官部参事官 簡井雄夫 氏 法務省経済関係民刑基本法整備推進本部参与 内田貴 氏 | |
| 民事（金融・経済） | H24 | 民事実務研究会（金融経済） | M&Aの成立に至る過程の実情 | ■■■■■ 氏 弁護士 磯邊善彦 氏 | M&Aの取組上の位置づけや、M&A取引におけるデュエリジェンスや取引価格決定などの具体的プロセスについて御説明いただいたもの。後半では、弁護士である講師から、弁護士が各プロセスでどのように関与しているのかなどを御紹介いただいた。 |
| 民事（金融・経済） | H24 | 民事実務研究会（金融経済） | 内外経済動向 | ■■■■■ 氏 | 世界経済や日本経済の現状（平成24年当時）及び今後の展望について御説明いただいたもの。電力危機や、財政再建などへの対応といった我が国が抱える政策課題についても言及いただいている。 |
| 民事（金融・経済） | H24 | 民事実務研究会（企業間取引） | 我が国における経営判断原則について | ■■■■■ 氏 | 経営判断原則について、その内容や根拠を御説明いただいた上で、アメリカにおける経営判断原則に関する議論の展開や我が国における経営判断原則に関する議論の内容を御紹介いただいたもの。 |
| 民事（医療） | H24 | 民事実務研究会（医療2） | 因果関係・損害を巡る疑問～相当程度の可能性・期待権を中心に | ■■■■■ 氏 | 相当程度の可能性・期待権に関する裁判例を概観しながら、相当程度の可能性・期待権の理論的位置付けとその射程について御説明いただいたもの。 |
| 民事（医療） | H24 | 民事実務研究会（医療1・2） | 救急医療現場の実情について | ■■■■■ 氏 | 我が国の救急医療体制に関する基本的知識を御説明いただいた上で、救急医療を専門とする医師の視点から、救急医療の現実と問題点を御説明いただいたもの。 |
| 家事 | H23 | 家事実務研究会 | これからの家庭裁判所に期待することー利用者の視点からー | 弁護士 片山登志子 氏 | |
| 家事 | H22 | 家事実務研究会 | 家事審判法改正と家庭裁判所の役割と課題 | ■■■■■ 氏 | |
| 家事 | H22 | 特別研究会（第7回、家事審判法改正を巡る諸問題） | 家事審判法の改正を契機に家庭裁判所が考えるべきこと | 東京家庭裁判所長 山崎恒 氏 | |
| 民事（その他） | H22 | 特別研究会（第3回、倒産関係） | 通常再生手続の課題と展望 | ■■■■■ 氏 | |
| 民事（通常） | H20 | 特別研究会（第4回） | パネルディスカッション「現代型訴訟を巡って」 | ■■■■■ 氏 外2名 | |
| 家事 | H20 | 家事実務研究会 | 利用者から見た家庭裁判所 | 弁護士 片山登志子 氏 | 利用者の視点から見た家事調停事件の運用の現状と課題、家事事件手続法の施行により家庭裁判所に期待する役割等についての講演と意見交換をしていただきました。 |
| 家事 | H20 | 家事実務研究会 | 家庭裁判所の役割と課題 | 横浜家庭裁判所長 田中由子 氏 | |
| 人事訴訟 | H19 | 家裁実務研究会（家事） | 控訴審からみた人事訴訟事件 | 横浜地方裁判所長 安倍嘉人 氏 | |
| 民事（行政） | H16 | 行政実務研究会 | 行政事件の審理における主任裁判官の役割ー整理・判決上の留意点を中心に | 東京地方裁判所判事 市村備典 氏 | |
| 家事 | H14 | 家事実務研究会 | 家庭裁判所における裁判官の役割 | 札幌家庭裁判所長 稲田龍樹 氏 | |